



120年間の絆

2年間、様々な業務にかかわっていく中で私は沖縄のルーツを知り、そしてハワイとのつながりを深めることができました。ここに来る前に、私の沖縄に関する知識はハワイで毎年開催される「沖縄祭り」やサーターアンドギー、沖縄文化とうちなぐちの授業から得た情報に限られていました。当時の私の沖縄のイメージは、「日本のハワイ」としか認識していませんでした。恥ずかしいことに、沖縄についてほとんど何も知らなかったのです。

しかし、ここ2年間色々な移民のイベントに参加したり、ハワイの代表者に会う機会などを通して、沖縄とハワイの深い歴史を学ぶことができました。戦前の移民から戦後の「豚が来た日」や文化交流まで、様々なことを調べてきました。最初は浦添市の歴史に興味があって調べたことがありましたが、初めて沖縄とハワイの歴史に触れたきっかけは松本市長のハワイつながりだったと思います。

おかげさまで、ウラシー（浦添）民間大使や浦添市人会の副会長など、ハワイの日系コミュニティにかかわっている何人かの人たちに会うことができました。そして、その人たちを通して、沖縄にいるハワイの留学生や研修生、仕事をされている人たちにも会うことができました。私はハワイ出身ですが、日系コミュニティとの関係がなかったので、このような人たちに会えると思っていませんでした。今年でハワイ・沖縄の絆は120周年を迎えますが、これらの関係がなければ実感はなかったかもしれません。これから先、浦添市でのハワイ交流ができればいいと思っています。

120 years of history

After two years in Okinawa, I have gained a lot of insight to my Okinawan roots in addition to strengthening my personal connections to Hawaii. Before leaving Hawaii, the extent of my knowledge regarding Okinawa was limited to the yearly Okinawan Festival, eating andagi, and taking a class on Okinawan language and culture. In other words, I had a rather shallow understanding of Okinawa being "Japan's Hawaii".

However, getting involved with several immigration events and meeting several delegates from Hawaii here has been how I learned about the history between Okinawa and Hawaii. From pre-war emigration to the post-war "pig day" and cultural exchanges, I learned many historical facts between the two islands. At first I only looked into the history of Urasoe out of interest, but thanks to Mayor Matsumoto and Urasoe City's connections to Hawaii my area of research gradually broadened.

So far I have been able to meet Urasoe's ambassador to Hawaii, the vice president of the Urasoe Shijinkai, and several other individuals involved in the Okinawan community in Hawaii. Through this community, I have also met others here with connections to Hawaii like exchange students, program participants, and even local businessmen. Because I didn't have any connections to the Nikkei community, I had never imagined that I would be able to meet influential people from Hawaii. Not only has it helped me appreciate the 120 years of history between the islands, but it also got me to thinking about what I could do to better the Hawaii-Okinawa relationship.

てだっ子 STUDIO

スタジオ

お兄ちゃんに
なった日♡

堀川 海翔ちゃん(8歳) 宮城在
武杜ちゃん(0歳)

待ってました～
チルチルみちる～♡
早く大きくなあれ♡

新垣 希歩ちゃん(4歳) 仲西在
みちるちゃん(2か月)

寝返り
でーきた！

比嘉 葵ちゃん(4か月) 伊祖在

〒901-2501 浦添市安波茶 1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1258
E-mail: kouhou@city.urasoe.lg.jp

「てだっ子 STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに！

ハイサイ
こちら市長室！

浦添市長
松本 哲治

気づきのチャンス

朝、街に軽快で爽やかなオルゴール調の曲が流れていることに多くの市民が気づいていることでしょうか。そうです、「家庭用ごみの収集作業車から流れるお知らせ用の曲が「エリーゼのために」から「浦添市歌」へと変わったのです。これは市制施行50周年事業の一環として、浦添市の歌を多くの市民が知ることで、より親しみをもって頂くための事業となっております。編曲を歌手の前田達也さんをお願いしました。同じオルゴール調の浦添市歌でも微妙に違う曲を複数アレンジしてもらい、その中から採用された曲が現在、みなさんのお耳へ届けられています。少し意外ですが、結構多くの市民が浦添市歌を知らず、「あの曲は何？」と聞いてくるのです。実際に歌詞までしっかり覚えていて空で歌える人は少ないかもしれませんね。実は私もその一人です(なぜか自慢げ)。

ところで、市民のみなさまへお願いがあります。この曲が聞こえてきたら慌ててごみを出すだけではなく、収集作業を行っているみなさまへ思いをはせて想像してみてください。私たちの街がいつもきれいに保たれ、ごみで溢れることがないのは彼らが日々賢明

▲市内を回るごみ収集車。毎日ご苦労様です。

にごみを収集しているからです。暑い日も寒い日も雨の日も風の日もきちんと回ってごみを回収してくれています。ところが、コロナ騒ぎが発生してからは、ごみ経由の感染を予防するために徹底した防護策を取りながら、しかも外出自粛の影響で増加したごみたちと毎日格闘しているのです。あの爽やかな音楽の陰で大つぶの汗を流しながら、コロナは私たちに多くの気づきを与えてくれたと私は思います。そのひとつが普通の日常生活の尊さではないでしょうか。出したごみが魔法のように消えていたあの日々も決して当たり前ではなかったのです。コロナ禍を嘆くだけでなく、多くの人々の働きに感謝して、見えない営みへの敬意を養う絶好のチャンスに変えていきましょう。

簡単！健康！サッと作れる！ サッとごはん

沖縄の郷土料理の一つ！ おいしさたっぷり県産品 デークニーイチー

35品目



材料(4人分)

豚肉…………… 60g
本みりん…………… 大さじ1/2
にんじん…………… 中1/4本
シママース…………… 小さじ1/2
だいこん…………… 中1/4本
薄口しょうゆ…………… 大さじ1/2
小松菜…………… 1株
酒…………… 小さじ1/2
厚揚げ…………… 1/2パック
かつおだし…………… 1/2カップ
サラダ油…………… 小さじ1

作り方

- ①豚肉、にんじん、大根は短冊切りにする。小松菜は1cmに、厚揚げは一口大に切る。
- ②鍋にサラダ油と豚肉を入れて炒め、にんじん、だいこん、厚揚げを加えてしんなりするまで炒める。
- ③調味料とだし汁を加えて煮込み、仕上げに小松菜を加える。

栄養成分表示(1人あたり)
エネルギー86kcal／たんぱく質7.2g／脂質3.9g／炭水化物5.3g／食塩相当量0.9g

うめ～しポイント

大根には、疲れをとるビタミンCがたくさん含まれていて子どもから大人まで食べやすい味になっています。塩を減らしてもおいしく料理できます。

レシピ提供：浦添共同調理場 比嘉 優子

問い合わせ：健康づくり課(内線☎3660)